



新そば解禁

第24回比和やまびこ祭・10/23

No.6

比和総合運動公園で、第24回比和やまびこ祭が開催されました。本年は、比和の新そば解禁と、赤く色づき始めた福田頭を併せて楽しめるようにと、例年より時期を少し遅らせて開催されました。会場はトライアルデモンストレーションや神園さやかさんの歌謡ショー、神楽などで盛り上がりました。

この日から解禁となった、比和町で栽培された、もえぎ色が特長の「比和もえぎそば」を目当てに、県内外から多くの人々が訪れていました。「そば処みのり」の店主丸亀実朋さんによるそば打ちの実演もあり、来場者は、なかなか目にするのでできない職人の技と、香り豊かな新そばを味わい、感嘆の声をあげていました。



▲手際よくそばが盛り付けられた

牛の祭典 来て見て食べて

口和モーモー祭&庄原みのりの祭典' 21・10/8・9

No.8

口和総合運動公園で、2年に1度の第15回和牛の里口和モーモー祭2016と庄原みのりの祭典' 21が同時開催され、総勢約3万人が来場しました。

広場では牛が主役の大イベント「モーモー大行進」や「牛と子どもの綱引き」が、ステージでは地元の芸能や出し物、水森かおりさんや田川寿美さんの「歌謡ショー」などが盛大に行われました。広島県産黒毛和牛の炭火焼コーナーも家族連れなどであふれ、地元の特産品即売ブースなどにも長い行列ができました。今回は比婆牛を活用したメニューを販売する比婆牛サミットも初めて行われ、来場者は比婆牛を満喫しました。

また、みのりの祭典コーナーでも各種の産物が販売され、大勢の人でにぎわっていました。



▲牛と子どもの綱引きに臨むひらしげもんた号

廃校舎を新たな価値へ

廃校リノベーション第1回ワークショップ・10/1

No.5

西城町の旧小鳥原小学校で、県内の中山間地域を舞台に来年3月に開幕予定の「ひろしまさとやま未来博2017」のシンボルプロジェクトとして実施する「廃校リノベーション(※)」の第1回ワークショップが開催されました。サポーターとして応募した県内の大学生・社会人23人と八銚自治振興区から9人が参加し、旧校舎を見学した後、改修イメージや活用法についてアイデアを出し合いました。参加者からは、「今ある自然を取り入れたい」「農業体験の拠点にしたい」などさまざまな意見が出されました。

※賛同するサポーターと地域が協働して改修計画をつくり、地域実情に合わせて廃校を再生させていくものです。



▲いろいろな世代や職種の人がアイデアを出し合った

東城の秋を味わう

第34回ふれあい東城まつり・10/15~16

No.7

第34回ふれあい東城まつりが東城小学校グラウンドをメイン会場に開催され、約5,000人の来場者でにぎわいました。

1日目は、東城文化ホールで「ふれあいステージ」が開催され、芸能・文化など地域の方や団体が出演しました。2日目は、東城の秋がたくさん詰まった創作汁を存分に味わえる、新企画「Oh!汁グランプリ」をはじめ、佐々木リョウさん・高山秋子さんのライブステージ、自治振興区対抗丸太切り競争、ちびっこ相撲、比婆荒神神楽子ども神楽塾の舞いなど盛りだくさんの内容でした。そのほか、健康チェックなどができる「健康ひろば」や展示ひろば、けん玉体験コーナーが各会場に開設され、来場者は思い思いの場所で楽しんでいました。



▲「Oh!汁グランプリ」で大賞をとった「志村園長's」(写真中央)

子どもも大人も記録に挑戦

水夢フェスティバル水泳大会・10/2

No.2

西城温水プール「水夢」で、第13回水夢フェスティバル水泳大会が開催されました。総勢144人もの申し込みとなり、幼児から大人まで日ごろの泳ぎの成果を競い合いました。

屋外の芝生広場では、地元の団体によるそば、ねぎ塩焼きそば、比婆牛おこわなどのバザーもあり、大会後にはお楽しみ抽選会も行われました。大会参加者や応援に来たギャラリーは西城の美味しい食材に舌鼓を打ち、催しを楽しんでいました。

当日は、初出場の選手や自己ベストの記録が出た選手もあり、会場は種目ごとに大きな声援で盛り上がりました。



▲選手は声援を受けて水をかいた

芸術で子どもたちの心を育む

本物の舞台芸術体験事業・9/30

No.4

庄原市民会館で劇団東少のミュージカル「眠れる森の美女」の演劇鑑賞会が開催されました。本物の舞台芸術体験事業は、次代を担う子どもたちに、本物の舞台芸術に接する機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うために行う事業で、市民会館で毎年度、市内小学5・6年生を対象に行っています。本年度は、市内小学校17校の児童や引率教員541人が、華やかで楽しいミュージカルを鑑賞しました。

「眠れる森の美女」は、わがままで思いやりのない娘に育った王女が、100年間の眠りの中で素晴らしい夢を見て反省し、美しい心に目覚めるといった感動的な作品で、子どもたちに、人に対して思いやりの心や優しい心を持つことの大切さが伝わった公演でした。



▲ミュージカル「眠れる森の美女」

スポーツを活用した地域づくり

総領グラウンド・ゴルフ大会・10/1

No.1

田総の里スポーツ公園グラウンド・ゴルフ場で、総領節分草スポーツクラブ主催による総領グラウンド・ゴルフ大会が開催され、28人が参加しました。

総領節分草スポーツクラブは、総領地域の体育施設を活用して地域住民にスポーツに親しむ場を提供することなどを目的に、本年2月に設立された地域住民主体で運営する総合型地域スポーツクラブです。

当日は、小雨が降る中、ホールインワンが続出する熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

同クラブの延清圭祐理事長は「これからも、地域住民同士の交流や健康づくりにつながる、特色あるスポーツイベントを開催したい」と話していました。



▲小雨の中熱戦が繰り広げられた

音楽を通じて人権を学ぶ

音楽人権教室・10/11

No.3

三次地域人権啓発ネットワーク協議会主催の「音楽人権教室」が高野中学校で開催されました。この教室は、生演奏の音楽や講話を聞くことで、音楽の持つ力を実感するとともに人権について考え、仲間と協調することなどについて学ぶことを目的としています。

当日は高野中学校全校生徒と高野小学校5・6年生の児童が参加し、マイ・ハート弦楽四重奏団の沖田孝司さんと沖田千春さんによるピオラとピアノの演奏や、人権に関する講話を熱心に聞いていました。

参加した高野中学校生徒は「この教室を通じて人権が身近に感じられた。支えあいの大切さや、ひとつの物事をいろいろな角度から見る必要があることを学べた」と話していました。



▲ピオラとピアノ演奏を聴く児童・生徒